

高齢者保健福祉計画について

1 返子市の高齢者を取り巻く状況

(1) 高齢者人口

	令和2年度			令和3年度			令和4年度
	推計値	実績値	対推計比	推計値	実績値	対推計比	推計値
総人口(人)	59,366	59,582	100.4%	59,061	59,528	100.8%	58,800
40～64歳人口	21,657	21,857	100.9%	21,725	22,027	101.4%	21,702
高齢者人口	18,662	18,696	100.2%	18,477	18,598	100.7%	18,388
65～74歳人口	7,912	7,874	99.5%	7,758	7,817	100.8%	7,377
75歳以上人口	10,750	10,822	100.7%	10,719	10,781	100.6%	11,011
高齢化率	31.4%	31.4%	100.0%	31.3%	31.2%	99.7%	31.3%

各年度10月1日現在。住民基本台帳による。

(2) 要支援・要介護認定者数

	令和2年度			令和3年度			令和4年度
	推計値	実績値	対推計比	推計値	実績値	対推計比	推計値
要介護等認定者(人)	4,225	4,047	95.8%	4,106	4,145	100.9%	4,234

第1号被保険者及び第2号被保険者の合計数。各年度10月1日現在。

(3) 総合事業対象者数

	令和2年度		令和3年度		令和4年度
	推計値	実績値	推計値	実績値	推計値
総合事業対象者(人)	178	249	362	210	364

実績値：令和4年3月31日現在。

(4) 介護度別認定者数（令和4年4月末日現在）

	第2号被保険者		第1号被保険者				総数	
	40～64歳		65～74歳		75歳以上			
要支援1	6	8.8%	33	9.6%	459	12.1%	498	11.8%
要支援2	4	5.8%	53	15.5%	544	14.3%	601	14.3%
要介護1	13	18.8%	78	22.7%	794	20.9%	885	21.0%
要介護2	15	21.7%	67	19.5%	667	17.6%	749	17.8%
要介護3	15	21.7%	36	10.5%	496	13.1%	547	13.0%
要介護4	6	8.7%	35	10.2%	485	12.8%	526	12.5%
要介護5	10	14.6%	41	12.0%	352	9.3%	403	9.6%
合計	69	100.1%	343	100.0%	3,797	100.1%	4,209	100.0%

2 施設等の整備状況

(1) 第8期計画期間中の新規・増設等の見込み

区分	施設種別	第8期の目標	整備状況
入所施設	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	・100床の増加を目指す。	・令和3年度に10床分ショートステイから特養に転換
入居施設	認知症対応型共同生活介護	・18床の増加を目指す。	・令和4年度公募実施
	特定施設入居者生活介護	・50床の増加を目指す。	・第8期の計画に基づき募集

(2) 第8期計画期間中の整備済み施設

区分	施設種別	施設数	定員数
入所施設	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	3	268人
	介護老人保健施設	1	75人
入居施設	認知症対応型共同生活介護	5	81人
	地域密着型特定施設入居者生活介護	1	23人
	特定施設入居者生活介護	5	227人

(3) 第7期及び第8期計画期間中の整備済み地域密着型サービス

サービス種別	令和2年度	令和3年度
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	1
夜間対応型訪問介護	0	0
認知症対応型通所介護	2	2
認知症対応型共同生活介護	5	5
小規模多機能型居宅介護	3	3
看護小規模多機能型居宅介護	0	0
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	0
地域密着型特定施設入居者介護	1	1
地域密着型通所介護	13	14

3 介護保険事業

(1) 居宅介護サービス（介護1～5）

（単位：人／月）

	令和2年度			令和3年度			令和4年度
	計画値	実績値	達成率	計画値	実績値	達成率	計画値
訪問介護	841	826	98.2%	738	890	120.6%	740
訪問入浴介護	101	62	61.4%	77	66	85.7%	74
訪問看護	409	453	110.8%	438	489	111.6%	446
訪問リハビリテーション	49	61	124.5%	65	75	115.4%	66
居宅療養管理指導	700	1,527	218.1%	754	1,615	214.2%	757
通所介護（デイサービス）	650	546	84.0%	531	600	113.0%	539
通所リハビリテーション（デイケア）	200	121	60.5%	175	143	81.7%	177
短期入所生活介護	217	168	77.4%	192	163	84.9%	194
短期入所療養介護（老健）	35	14	40.0%	23	16	69.6%	23
短期入所療養介護（病院等）	2	0	0.0%	0	0	#DIV/0!	0
福祉用具貸与	1,061	1,128	106.3%	1,046	1,209	115.6%	1,052
特定福祉用具購入費	48	24	50.0%	24	23	95.8%	24
住宅改修費	24	19	79.2%	19	18	94.7%	19
特定施設入居者生活介護	345	341	98.8%	360	340	94.4%	396
居宅介護支援	1,720	1,641	95.4%	1,650	1,747	105.9%	1,692

(2) 介護予防サービス（要支援1・2）

（単位：人／月）

	令和2年度			令和3年度			令和4年度
	計画値	実績値	達成率	計画値	実績値	達成率	計画値
介護予防訪問介護							
介護予防訪問入浴介護	0	1	0.0%	1	1	0.0%	1
介護予防訪問看護	15	44	293.3%	42	33	78.6%	43
介護予防訪問リハビリテーション	15	12	—	14	10	—	14
介護予防居宅療養管理指導	93	120	129.0%	72	124	172.2%	73
介護予防通所介護（デイサービス）							
介護予防通所リハビリテーション（デイケア）	61	33	54.1%	45	36	80.0%	47
介護予防短期入所生活介護	5	1	20.0%	2	1	50.0%	2
介護予防短期入所療養介護（老健）	3	0	0.0%	1	0	0.0%	1
介護予防福祉用具貸与	244	240	98.4%	274	238	86.9%	279
特定介護予防福祉用具購入費	10	4	40.0%	6	5	83.3%	6
介護予防住宅改修費	11	7	63.6%	12	8	66.7%	12
介護予防特定施設入居者生活介護	89	47	52.8%	55	47	85.5%	56
介護予防支援	626	299	47.8%	335	288	86.0%	344

《(1)・(2)の現状と評価》

居宅介護サービス（要介護1～5）及び介護予防サービス（要支援1・2）とも、達成率等の傾向は類似しています。いずれも（介護予防）居宅療養管理指導の利用率が著しく高く、被保険者の健康に対する意識の高さがかがえます。なお、低額な費用で医療の専門家から生活に関するアドバイスを得られることから、引き続き（介護予防）居宅療養管理指導利用の促進を図ってまいります。

新型コロナウイルスの影響による介護サービスの給付量について令和2年度と令和3年度全体的な量の比較では、令和2年度は利用控えであったものが、ワクチン接種等により令和3年度はサービスを利用する機会が増えたと考えられます。

(3)地域密着型サービス

(単位：人／月)

	令和2年度			令和3年度			令和4年度
	計画値	実績値	達成率	計画値	実績値	達成率	計画値
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	20	2	10.0%	3	2	66.7%	3
認知症対応型通所介護	57	34	59.6%	35	30	85.7%	37
小規模多機能型居宅介護	60	41	68.3%	46	34	73.9%	49
認知症対応型共同生活介護	89	62	69.7%	59	76	128.8%	80
地域密着型特定施設入居者生活介護	19	16	84.2%	17	16	94.1%	17
地域密着型通所介護	389	334	85.9%	350	352	100.6%	354

(4)地域密着型介護予防サービス

(単位：人／月)

	令和2年度			令和3年度			令和4年度
	計画値	実績値	達成率	計画値	実績値	達成率	計画値
介護予防小規模多機能型居宅介護	6	4	66.7%	2	5	250.0%	2
介護予防認知症対応型共同生活介護	1	0	0.0%	0	0	#DIV/0!	0

《(3)・(4)の現状と評価》

住み慣れた地域で生活を続けられることを目的とした地域密着型サービスですが、令和3年度は介護予防小規模多機能型居宅介護の数値が令和2年度より増加しています。今後地域共生社会を実現するにあたり、地域の特性に応じた地域密着型サービスの活用について注視していきます。

(5)訪問型サービス・通所型サービス（従前相当分）（単位：人／月）

	令和2年度	令和3年度			令和4年度
	実績値	計画値	実績値	達成率	計画値
訪問型サービス（従前相当分）	220	274	186	67.9%	280
通所型サービス（従前相当分）	347	437	339	77.6%	445

(6)施設サービス

（単位：人／月）

	令和2年度			令和3年度			令和4年度
	計画値	実績値	達成率	計画値	実績値	達成率	計画値
介護老人福祉施設	368	315	85.6%	315	324	102.9%	335
介護老人保健施設	154	142	92.2%	142	134	94.4%	142
介護療養型医療施設	5	2	40.0%	2	1	50.0%	2
介護医療院	5	1	—	1	0	—	1

《現状と評価》

サービス提供基盤の確保に向けて事業者情報の収集と参入促進に努めます。

介護療養型医療施設及び介護医療院は、市内に該当施設がないため、近隣市の施設利用が主となります。介護療養型医療施設の廃止については厚生労働省が2023年度末まで延長しましたので、市内・市外を問わず代替施設等の情報把握に努めるとともに、今後も国の動向に注視していきます。

(7)市町村特別給付

（単位：人／年）

	令和2年度			令和3年度			令和4年度
	計画値	実績値	達成率	計画値	実績値	達成率	計画値
移送サービス	210	266	126.7%	300	550	183.3%	300

《現状と評価》

移動支援のニーズに対応するため、介護保険法に規定する市町村特別給付サービスとして、平成15年度から逗子市が独自に移送サービスを提供しています。令和3年度から要介護1以上の方（本人非課税の要件は変わらず）を対象とし、介護保険のケアプランに位置付けた上で、通院等のための移送サービスを実施しています。利用拡大に伴い、運送事業者と協議しながらよりよいサービスを提供していきます。

(8)負担限度額認定証（各年度4月末日現在） (単位：人)

	令和2年度	令和3年度
第1段階（老齢福祉年金等）	20	16
第2段階（所得等80万円以下）	51	48
第3段階（その他非課税）	221	180

(9)負担割合（基準日：8月1日） (単位：人)

	令和2年度	令和3年度
1割負担	3,509	3,191
2割負担	433	372
3割負担	405	329

4 地域包括支援センターの充実・強化

(1) 地域包括支援センター運営事業

《現状と評価》

令和2年度から、生活困窮、障がい、高齢者等、属性を問わない相談支援を行うため各地域包括支援センターを包括的相談支援機関として運用するとともに、令和3年度から各地域包括支援センターに相談支援包括化推進員を配置、ダブルケアや引きこもり等の複合的な課題に対する総合相談（計36件）を受け付けるとともに、各相談支援機関との多機関協働支援及び様々な人の社会参加の支援を行いました。

今後は、より深刻且つ複合的な課題を有する方に対する積極的な訪問支援を実施すること。並びに包括的相談支援機関として、地域包括支援センター職員及び関係機関等の密接な連携及び資質向上が必要となります。

5 在宅医療と介護の連携

(1) 地域包括ケアシステム推進事業

《現状と評価》

地域包括ケアシステムの構築を目的として、市主催の地域包括ケア会議を2回、各地域包括支援センター主催の地域ケア会議を26回実施しました。テーマとしてはコロナ禍における介護予防や、認知症の理解、地域での見守りの必要性等について検討しました。

また、基幹型センターが主催となって、リハビリテーション等専門職を助言者とし「介護予防のための地域ケア会議」を10回実施、自立支援を目指す介護予防ケアマネジメントを検証し、難病やターミナルケア、訪問介護による生活援助の回数の多い事例の検討を行いました。

(2) 在宅医療・介護連携推進事業（所管課：国保健康課）

《現状と評価》

逗葉地域在宅医療・介護連携相談室（以下、連携室）では、多職種連携会議を2回（書面会議1回、オンライン会議1回）開催し、逗葉地域の病院、訪問看護ステーション、地域包括支援センターなど、医療福祉関係機関の課題を共有し、連携の仕組みづくりについて検討しました。研修会は、1回開催しました。また、関係者が相談しやすいよう、サロンを5回設けています。さらに、病院との退院前カンファレンス、訪問、ケアマネジャーからの相談等、計90名（延387件）の相談に対応し、在宅での見取りについてのアンケート調査を行いました。

6 在宅生活の支援

(1) 生活支援体制整備事業

《現状と評価》

第1層・第2層生活支援コーディネーターが協働して地域における社会資源の開発やネットワークの構築を行いました。住民主体による生活支援サービス（訪問型サービスB）や、介護予防の通いの場の充実のために、一時閉会したサロン活動の再開支援を行いました。生活支援に必要なサービスを集約した地域包括支援システム（かなわ福祉サービス振興会）に情報を集約し見える化しました。

(2) ひとり暮らし高齢者訪問事業

項目	単位	令和2年度			令和3年度			令和4年度
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値
訪問件数	件	2,000	1,363	68.2%	1,500	1,283	85.5%	1,500

《現状と評価》

定期的な訪問（社会福祉協議会に委託）により、ひとり暮らし高齢者の把握に努めています。地域包括支援センターや地域住民等と連携を図ることで見守りが円滑に行われています。

(3) 福祉緊急通報システム事業

項目	単位	令和2年度			令和3年度			令和4年度
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値
設置数	件	85	46	54.1%	51	47	92.2%	60

《現状と評価》

新規設置者と利用廃止件数(施設入所や家族との同居、死亡等)の相殺により、実績は微増となっています。

(4) 福祉配食サービス事業

項目	単位	令和2年度			令和3年度			令和4年度
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値
利用実人員	人	56	35	62.5%	40	38	95.0%	40
配食延回数	食	6,700	4,991	74.5%	5,900	5,987	101.5%	5,900

《現状と評価》

日常生活に支障のある高齢者等に対し、訪問により昼食を届け、低栄養予防・改善のための食の確保と安否確認のための配食サービスを実施しています。利用実人員の達成率も高く、配食延べ日数は目標値を超えた実績値を達成しました。今後も介護保険制度やその他サービスとの調整を図りながら、対象者の状況に合致したアセスメントを行い、配食を行っていきます。より適正な支給を行うため、緊急財政対策に基づき、支給対象の見直しを図り、新規申請は非課税世帯等が対象となっています。

(5) 在宅高齢者紙おむつ等支給事業

項目	単位	令和2年度			令和3年度			令和4年度
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値
利用登録実人数	人	510	205	40.2%	250	135	54.0%	250

《現状と評価》

要介護3以上と認定された高齢者を在宅で介護している家族に対し、介護に必要な紙おむつを現物で月額支給し、在宅介護をする家族の負担軽減を図っています。緊急財政対策に基づき、支給対象の見直しを図り、新規申請は非課税世帯等が対象となっています。

7 地域福祉の推進（見守り・支え合い）

(1)ひとり暮らし高齢者実態把握事業

項目	単位	令和2年度	令和3年度
		実績値	実績値
訪問活動（延べ）	件数	13,666	14,444

《現状と評価》

民生委員児童委員協議会に委託し、ひとり暮らし高齢者を訪問し、状況把握と安否確認を行っています。

8 介護予防の推進

(1)介護予防・日常生活支援総合事業

項目	単位	令和2年度			令和3年度			令和4年度
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値
水中運動	開催コース数	回/年						
	延開催回数	回/年						
	延参加者数	人/年						
運動器向上	開催コース数	回/年	6	2	33.3%		6	#DIV/0!
	延開催回数	回/年	72	14	19.4%		55	#DIV/0!
	延参加者数	人/年	1,382	94	6.8%		585	#DIV/0!
認知症予防	開催コース数	回/年	4	2	50.0%	4	4	100.0%
	延開催回数	回/年	48	13	27.1%	48	35	72.9%
	延参加者数	人/年	832	166	20.0%	832	343	41.2%
サロン数	か所		28	15	53.6%	25	18	72.0%
サロン延参加者数	人/年		13,432	5,637	42.0%	-	8,824	#VALUE!

《現状と評価》

令和3年度より、水中運動と運動器向上の教室は統合し、新たに1つの講座として開催予定したが、新型コロナウイルス感染症の影響により定員を変更・縮小のうえ開催となった。認知症予防教室についても同様に縮小開催となった。

サロンについても、新型コロナウイルス感染症の影響により8月中旬から9月末までは自粛要請を行い、10月以降の再開支援を地域包括支援センターや社会福祉協議会より実施したが、令和4年1月からまん延防止等重点措置が発せられ、多くのサロンが活動を休止したため約半数のサロンが活動を休止したまま令和3年度が終了となった。

(2)訪問型サービスB（住民主体による訪問型サービス）

項目	単位	令和3年度	令和4年度
訪問型B	ヶ所	3	3

《現状と評価》

生活機能の低下の恐れのある者に対し、状態が悪化することの予防、地域における自立した日常生活の支援を目的に、地域の実情に応じた住民主体による支援を実施しました。NPO法人等を実施主体とし新型コロナの影響がありましたが、各運営法人のコーディネーターが感染防止対策を施し、継続的に実施をしました。

担い手の確保に課題がある中、今後も担い手の養成やフォローアップを継続的に行っていきます。

(3) 通所型サービスC (短期集中予防サービス)

※平成29年度から、介護予防・日常生活支援総合事業移行に伴い、旧2次予防事業を再編

	単位	令和2年度			令和3年度			令和4年度	
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	
運動器口腔栄養の複合型	延開催回数	回/年	230	2	100.00%	190	112	-	190
	延参加者数	人/年	-	3	-	-	425	-	-
	1回あたりの平均登録者数	人/年	10	3	49%	56	3.79	-	56

《現状と評価》

緊急事態宣言下において、休止を余儀なくされ4月・8月・9月を除く9カ月の開催に留まりました。対象者の参加要望はあったものの開催が出来なかったため、した。

(4) 介護予防普及啓発事業 (シニア健康体操)

項目	単位	令和2年度			令和3年度			令和4年度
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値
参加者数	人	1,100	0	0.0%	1,100	62	5.6%	620

《現状と評価》

高齢者自身が主体(ブシップ連合会)となり、日常生活の基本ともいえる筋力強化による運動奨励策に加え、自立健康者への支援と寝たきりゼロを目指す取り組みにより、介護サービスを受けない高齢者づくりを推進するためのシニア健康体操教室を実施しています。令和3年度については、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐ観点から、12、1月のみしか教室を開催できなかった。

(5) 男性の健康料理教室 (所管課：国保健康課)

項目	単位	令和2年度			令和3年度			令和4年度
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値
延参加者数	人	264	35	13.3%	24	22	91.7%	24

※令和3年度以降の目標値は実人数となっています。

《現状と評価》

年間24回(6回×4コース)(4-6月、7-9月、10-12月、1-3月)で開催予定でしたが、新型コロナウイルス蔓延防止措置に係る市の方針に伴い、7-9月コースは2回のみ、他は全6回の開催となりました。料理初心者、包丁を持ったことない方でもお一人お一人が調理スキルの上達ができるよう丁寧な指導を心がけています。

(6) 食生活改善推進員養成講座 (所管課：国保健康課)

項目	単位	令和2年度			令和3年度			令和4年度
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値
延参加者数	人	216	107	49.5%	12	12	100.0%	12

※令和3年度以降の目標値は実人数となっています。

《現状と評価》

生活習慣病予防や食育、調理実習、献立作成等幅広い視点から食について学ぶことができるため、受講者の知識や技術の向上に有効だと考えられます。新型コロナウイルス感染予防のため、定員を18名から12名に減らし、実施しました。全10回の講義及び実習を予定していましたが、新型コロナウイルス蔓延措置に伴う市の方針に伴い1回を中止とし、中止とした分を他回に短縮して実施しました。

9 生きがい・社会参加の推進

(1) 生きがい推進事業（公衆浴場入浴助成事業）

項目	単位	令和2年度			令和3年度			令和4年度
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値
利用延件数	人	9,750	12,695	130.2%	11,000	13,160	119.6%	11,000

《現状と評価》

公衆浴場を高年齢者の交流の場として提供することにより、ふれあいの場づくり、世代間の交流、近隣との交流、高年齢者の孤独感の解消等、高年齢者福祉の向上を図っています。平成30年9月から令和2年7月まで市内唯一の公衆浴場が休業し、その間鎌倉市及び横須賀市内の公衆浴場を代替として利用可能としました。令和2年8月以降は、市内唯一の公衆浴場が再開し市内のみ利用可としましたが、利用延べ件数は増加しました。

(2) 高年齢者センターの運営

項目	単位	令和2年度			令和3年度			令和4年度
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値
延利用者数	人	27,500	1,243	4.5%	23,000	6,981	30.4%	23,000

《現状と評価》

高年齢者等の健康増進、教養の向上及びレクリエーションの便宜や健康相談などを総合的に提供し、高年齢者の生活向上を図っています。サークル活動の場、食事の提供、老人クラブ等自由活動支援など多角的に事業を展開し、元気な高年齢者の集いの場として利用されています。令和3年度については、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐ観点から、8・9月の2カ月間閉館であったため、実績値は大幅に減少しました。

(3) 福祉バス運行事業

項目	単位	令和2年度			令和3年度			令和4年度
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値
利用者数	人	35,000	1,120	3.2%	29,000	8,507	29.3%	29,000

《現状と評価》

市街地から離れて立地する高年齢者センターに利用者の安全な送迎を目的に、3ルートを設定し無料の2点間運行で福祉バス((株)パブリックサービスへ委託)を運行しています。平成2年度から、さらなる利便性の確保のため、逗子アリーナを経由し、逗子アリーナ開館時、60歳以上の逗子アリーナ利用者も利用可能としましたが、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐ観点から、8・9月の2カ月間閉館であったため実績値は大幅に減少しました。

(4) ふれあい祭り事業

項目	単位	令和2年度			令和3年度	令和4年度
		目標値	実績値	達成率	実績値	実績値
高年齢者の集い（ふれあい祭り）参加者	人		0	#DIV/0!	0	—

《現状と評価》

高年齢者の生きがいと健康づくり推進事業の一環として企画、運営をズシッ浦連合会に委託し、総合的なイベントを高年齢者自らが関係団体の協力を得て実施し、各種イベントを通じ世代間の交流、高年齢者の意識改革、社会参加活動の促進を図って、ふれあいと活力のある長寿社会づくりに寄与しています。

平成30年度よりふれあい祭りについては、「高年齢者の集い」として、ズシッ浦連合会直営の事業となります。令和3年度については、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐ観点から、「ふれあい祭り」は中止となりました。

10 認知症施策の推進

(1) 認知症総合支援事業

項目	単位	令和3年度
チーム員会議開催数	回	10
認知症カフェ開催数	回	13

《現状と評価》

認知症初期集中支援事業として、平成30年4月より認知症初期集中支援チームが高齢介護課に設置され、令和2年4月社会福祉課地域共生係が創設されてからは地域共生係が担当しています。構成員は認知症サポート医、社会福祉課保健師、社会福祉士、各地域包括支援センターの認知症地域支援推進員です。今後もチームと地域包括支援センターが連携しながら早期対応していきます。

認知症地域支援推進員は、社会福祉課保健師が中心となり各地域包括支援センター看護職3名が兼務しています。定期的な情報交換会を開催し、活動の方向性を共有しています。2か所の地域包括支援センターでは、毎月認知症カフェを開催し、認知症のご本人やご家族の支援の場となっていました。令和2・3年度は新型コロナウイルスの感染で1箇所のみ会場とオンラインとのハイブリッド開催を試みました。

(2) 認知症サポーター養成事業

項目	単位	令和2年度			令和3年度			令和4年度
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値
認知症サポーター養成数	人	200	59	29.5%	400	165	41.3%	400

《現状と評価》

認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り支援する認知症サポーターを養成します。地域住民だけではなく、職域にも認知症サポーターを増やすための養成講座も実施していましたが、新型コロナの影響により地域においての開催は1回に留まりましたが、中学校1校と市職員向け講座は再開しました。

(3) 家族介護者支援事業

項目	単位	令和2年度			令和3年度			令和4年度
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値
教室開催回数	回	4	2	50.0%	4	2	50.0%	4
教室参加者数	人	80	29	36.3%	80	24	30.0%	80
交流会開催回数	回	3	2	66.7%	3	2	66.7%	3
交流会参加者数	人	40	29	72.5%	40	242	605.0%	40
相談会開催回数	回	12	11	91.7%	12	12	100.0%	12
相談会参加者数	人	36	15	41.7%	36	11	30.6%	36

《現状と評価》

家族介護教室については、家族介護者交流事業と一体化して社会福祉協議会に委託しています。令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で2回の開催となりました。全国や逗子市内のデータを用いることでコロナ禍における自粛疲れの正体（筋力低下や自律神経の乱れ等）を参加者と共有することができました。自立神経を整えるための「呼吸筋ストレッチ」。転倒を予防するための「もも上げ・もも下げ体操」は即日、活かすことができる手法を習得する内容でした。

なお、交流会については、感染対策の観点から従来行っていた参加者間の座談会ではなく、ファシリテーターを介して行う形となりました。質問を通して学びを再確認するほか、参加者間の経験を共有しました。

相談会は、認知症高齢者（疑い含む）を在宅介護している家族が、相談のうえ必要な支援が受けられることを目的に毎月開催しています。精神保健福祉士が認知症に関する幅広い相談に対応し、令和3年度は12回開催、11名の相談を受け付け適切に地域の社会資源に繋げる等の支援を行いました。

(4) 徘徊高齢者対策事業

項目	単位	令和3年度			令和4年度		
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
発信器利用者数	人						

《現状と評価》

認知症等により徘徊行動のある高齢者を在宅で介護する家族に対し、GPSを貸与しましたが、緊急財政対策に基づきGPSの貸与は平成30年度で終了となりました。現在は、認知症等により高齢者が行方不明になった場合、地域の支援を得て早期発見ができるよう、関係機関との情報ネットワーク（徘徊高齢者SOSネットワーク）により支援体制を構築しています。

また、希望者には二次元バーコードが印刷されたラベルシールを交付し、対象高齢者の早期かつ安全な保護の仕組みを整備しています。